



東公民館

高齢者大学一日体験入学

高齢者大学一日体験入学が、10月29日(月)に、北伊予中学校で開催されました。

開会式では中学校代表の教頭先生と大学生代表の文化部長のあいさつで始まりまし

た。大学生が持ち寄った「雑巾」の贈呈を行いました。その後、生徒による合唱があり、続いて高齢者の方の体験発表で神崎の水口さんにより戦争体験の発表をしていただき最後に命の大切さを強調され好評を得ました。

その後、グラウンドに出て大学生の皆さんと生徒が一緒になってグラウンドゴルフを楽しみました。お昼には体育館でおいしい給食を地域ごとに集まって対面でお話をしながらおいしくいただきました。一日体験入学を終えての感想を2年生の代表3名に発表していただきました。次のとおりです。



▲戦争体験の発表をする水口さん

● 2年A組 窪田 あかね

今日、高齢者大学で学んだことはまず、「命の尊さ」です。「苦しい事、つらい事があっても、絶対に自ら命をたつてはいけない、命は地球よりも重たいものだ」と教えてくれました。だから人と人との命を奪い合う残酷な争いを絶対に起こしてはいけないという事を学びました。それから、今ある平和はおじいちゃん、おばあちゃんたちのおかげであるということ。あの戦争から、このような便利で豊かな社会を作り上げてくれた人たちのことを私たちは忘れ

てはならないと強く思いました。グラウンドゴルフ、給食では、普段このような交流はめつたにないので良い体験にもなつたし、交流も深まって、すごく良かったなと思います。

● 2年B組 濟川 紘士朗

「高齢者大学」を終えて、現在をつくってくれたであろう高齢者の皆さん、そんな皆さんと活動して、話すことはもちろんグラウンドゴルフや戦争での出来事を話してくれて、とてもいい体験になった。今、福祉について学んでいるけれど、年なんか関係ないとしてもいうような表情でグラウンドゴルフも上手かったし、なによりもみんな元気でした。なので、僕も皆さんのように元氣



に長生きして社会に貢献したり、したいことをたくさんしたいです。

● 2年B組 藤井 美穂

こんなにたくさんのお年寄りの方々とおふれあつたのは初めてでこれからもめつたにいい機会だと思えます。ほとんどの方が初対面でしたが、とても楽しく活動することができました。戦争体験の話などもしていただき、今の平和な日本があるのは、お年寄りの方のおかげなのだと思改めて実感しました。普段接することのない方とグラウンドゴルフをしたり、一緒に給食を食べたり、本当に貴重な経験だったと思います。今日来て下さった方に感謝したいです。



公民館の
2月行事予定

東公民館

9日(土) 9時30分

第10回 囲碁教室

22日(金) 13時30分

第8回 高齢者大学

